

# 伝統に生きる

— あらかわの工芸技術 —

もくはんがすり

木版画摺

かわしまひでかつ

川嶋秀勝

(平成30年度作品/27分)

DVD

## プロフィール

荒川区西日暮里在住

昭和19年(1944)栃木県大田原市生れ

平成29年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定

川嶋さんは、昭和34年(1959)、中学校卒業後、木版画摺の関岡功夫氏(元区指定無形文化財保持者、二代目扇令)に師事し技術を修得した。関岡家の技術の系譜は、松村仙吉に始まる日本橋石町松村系に連なる。

修行は、デパートの懸紙、年賀状、クリスマスカードなどから始まり、3年目から浮世絵の摺に取り組んだ。6年目に一人前の職人として認められるようになり、今日まで木版画の技の研鑽に努めてきた。60年以上の経験に裏付けられた高度な技で東都納札陸会せんしやふだの千社札、復刻木版画などを手がけている。

浮世絵木版画彫摺技術保存協会(選定保存技術保持団体)、東京伝統木版画工芸協同組合、東京木版画工芸組合、荒川区伝統工芸技術保存会に所属。

また、荒川区伝統工芸技術継承者育成支援事業により、小川信人氏(関岡功夫氏の孫)を指導している。

企画・著作 荒川区・荒川区教育委員会

制作 毎日映画社

## 用具・工具・材料

### 〈用具・工具等〉

バレン、ブラシ、刷毛、タンポ、とき棒、水刷毛、裁包丁、見当ノミ、クイキ、摺台、ハネ台、おし（摺りあげたものをプレスする道具）など

### 〈材料〉

版木（本桜材）、絵の具（顔料）、墨、紙（<sup>まさかみ</sup> 桤紙、越前奉書など）、糊（ヤマトノリ）、<sup>どうき</sup> 礬水（<sup>にかわ</sup> 膠とミョウバンを合わせたもの）など



## 工程

### —歌川広重「名所江戸百景 日暮里諏訪の台」の場合—

\*今回の作品は、表と裏の両面に彫られた5枚の版木を使い、22回ほど重ね摺りを行う。

#### (1) 裁断

- 和紙には、<sup>にかわ</sup> 膠と<sup>どうき</sup> ミョウバンを合わせたものを礬水<sup>どうき</sup>を引く。
- 摺る前に湿らせておき、裁包丁で裁断する。

#### (2) 和紙を湿らす

- 水分が平均的に入るようにずらしながらしばらく置く。
- ずらしながら置くことを「おとし」という。

#### (3) 見当をつける

- 見当ノミでクイキと呼ぶ小さな板を打ち込み、版木に見当をつける。

#### (4) 主版（墨板）を摺る

- 輪郭線を摺る。

#### (5) 色摺り

- とき棒で版木に絵の具（顔料）と糊をのせ、ブラシで素早く広げる。
- 見当に合わせ、紙を置き、小さくて色が薄い部分からバレンで摺る。
- 版木と和紙の状態によって、クイキを版木に入れたり外したりして調整し、重ね摺りのズレを防ぐ。  
※「ぼかし」…ブラシを使って絵の具と水分をなじませ、濃い色から薄い色への変化を表現する。  
※「一文字ぼかし」…「一」の文字を引いたような濃淡のぼかし。

#### (6) おし

- 摺りあげた作品を板の間に挟み、重しをかけ、平らになるように圧をかける。

#### (7) 仕上げ（「化粧裁ち」）

- 裁包丁で余白の部分を切り落とす。

#### (8) 完成



「伝統に生きる—あらかわの工芸技術—」は、江戸から受け継がれてきた無形文化財である伝統工芸技術を保存継承し、広く普及することを目的に、荒川区指定無形文化財保持者の技術を記録した映像作品です。DVDは、荒川区の図書館で貸し出ししていますのでご利用下さい。

### 問い合わせ先

#### 内容・伝統工芸等に関すること

荒川区立荒川ふるさと文化館 …… 3807-9234

● 荒川区ホームページ内「あらかわまなびプラザ」あらかわの伝統工芸 <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/arapura/dento/index.html>

#### DVD貸し出しに関すること

ゆいの森あらかわ …… 3891-4349

町屋図書館 …… 3892-9821

尾久図書館 …… 3800-5821

南千住図書館 …… 3807-9221

日暮里図書館 …… 3803-1645

● 荒川区立図書館ホームページ <https://www.library.city.arakawa.tokyo.jp/>

汐入図書サービスステーション …… 3807-8130

冠新道図書サービスステーション …… 3800-3321